

奈文研

ニュース

No.40

Mar.2011

NABUNKEN NEWS



独立行政法人 国立文化財機構
奈良文化財研究所
〒630-8577奈良市二条町2丁目9-1
<http://www.mabunken.go.jp/>

牡丹と都城と石窟と洛陽

奈良文化財研究所は、中国社会科学院考古研究所と2007年度より5カ年計画で、漢魏洛陽城の共同発掘調査を進めています。藤原京や平城京など日本の古代都城の源流は、西安や洛陽などの中国古代王朝の都にあると考えられています。日本と中国が共同でおこなっている国際調査は、古代の国際交流を考える上でも非常に重要なことがわかります。しかし、洛陽はちょっと遠くて、あまりなじみのない場所かもしれません。洛陽ってどんなところか紹介してみましょう。

洛陽は、中国河南省の真ん中ぐらいにあります。北京から飛行機で一時間半ぐらいのところ。兵馬俑や長安城で有名な西安がある陝西省の東に位置します。西安と洛陽は、高速鉄道（日本の新幹線）



そそり立つ壁の実測作業

で結ばれていて、今なら1時間ちょっとで行き来できる距離です。唐の時代には、西安（長安）の都に対して「東都」と呼ばれていました。西安と洛陽の関係は、京都と奈良の関係に少し似ている気がします。

洛陽は奈良盆地を横にして大きくしたような東西に長い盆地です（下図）。東西50km、南北20kmぐらいで、洛河と伊河が中央を流れています。伊河が南に抜ける場所に世界遺産で有名な竜門石窟があります。山西省大同市の雲崗石窟と同じく、北方遊牧民の鮮卑族が作り始めた石窟です。そして、彼らが都をおいたのが漢魏洛陽城です。後漢の都をそのまま使った宮城の外側に、平城京のような碁盤目状の街区を整備した初めての都市です。日本の古代都城のモデルは、唐の都にあると言われていますが、実はこの漢魏洛陽城においてそのモデルとなる要素の多くは生まれているのです。

一方、漢魏洛陽城の他にも洛陽には多くの都城があります。学者の間で世界的に有名な二里头遺跡。中国最古の伝説の王朝－夏の都じゃないかと言われていています。さらに殷と呼ばれる時代の偃師商城、東周の王城、そして中国史上唯一の女帝として知られる則天武后が都とした隋唐洛陽城。洛陽はまさに歴史の浪漫が埋もれる都です。

機会があったら是非、洛陽に足を運んでみてはいかがでしょうか。そう、有名な牡丹が咲き乱れる春に。

（都城発掘調査部 城倉 正祥）



洛陽盆地の都城